

五研
169

拝啓這田内閣總理の

大命を拝せられ御勞

ご中事とは存じ得共

此錯雜紛糾の時尚ど

收拾するには

尊兄を舎は他に重

人なるべし國の為め

慶祝に至りて殊に外交

の如きは余大事にして

西隣の状勢も未だ樂

觀すべからざるものあり

國民の信用なき政府は

國民の信用なき政府は



観すべからざるものあり
國民の信用なき政府は
到底何事も成し能は
ざるべしと幸に名望高

尊兄の内閣に於て海

軍部因の大廓清は申

すに及ばず總て官紀紊

乱廉恥地を拂ふが如

の弊實は必ず痛く之

れを杜絶せざるべからず

官紀の振肅は目下の急

務歟と没存候に直裯（直裯）

御大喪に付早速馳上り

尚

尊兄の高誨を以て蒙り

度あり處に奈何せん盲

腸狭窄症にて疼痛

を感し困難醫者より

當分専ら静養を

當分専ら静養を
旨とすへしとの嚴戒
之顧り遺憾千萬
事情の惘察は不
度祝多捧一寸楮
末筆不憚

奥方様へ宜敷
相願我不盡意由
畧頌首

四月十六日

直彬

大隈仁光先生

研 北